

体制図(2020年2月 現在)

## 食と先端技術共創コンソーシアム

領域統括：江面 浩(筑波大学)

### 幹事機関

#### 筑波大学

産学連携部  
プロジェクト  
担当組織

つくば機能植物  
イノベーション  
研究センター  
研究開発課題1  
代表

つくば機能植物  
イノベーション  
研究センター  
研究開発課題2  
代表

つくば機能植物  
イノベーション  
研究センター  
研究開発課題3  
代表

つくば機能植物  
イノベーション  
研究センター  
研究開発課題4  
代表

日本製粉株式会社  
研究開発課題1  
担当

株式会社カネカ  
研究開発課題2  
担当

日清食品  
ホールディングス  
株式会社  
研究開発課題2  
担当

株式会社トーヨー  
エネルギーファーム  
研究開発課題3  
担当

サナテックシード  
株式会社  
研究開発課題4  
担当

国際基督教大学  
研究開発課題4  
担当

### University of Tsukuba Campus Map



お問い合わせ

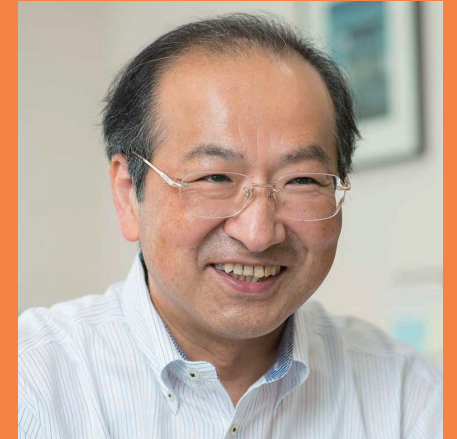
国立大学法人 筑波大学  
産学連携部 産学連携企画課

茨城県つくば市春日1-2  
高細精医療イノベーション棟1F  
Tel.029-859-1485

Email: opera-tsukuba@ilc.tsukuba.ac.jp



## JST OPERA 食と先端技術 共創コンソーシアム



領域統括

江面 浩 Ezura Hiroshi

国立大学法人 筑波大学 教授  
つくば機能植物イノベーション  
研究センター長

### 食に関する先端技術の 社会実装をめざして

「食と先端技術共創コンソーシアム」は、いのちの源である「食」を通じた社会課題の解決を設立の理念としています。2019年の設立後、作物の高速・大規模フェノタイピング、迅速で効率的な品種改良技術、精密で省力的な園芸作物生産技術といった革新的な技術開発に取り組んでおります。当コンソーシアムは、これからも新メンバーの参画を得ながら、研究開発課題を追加しつつ、

- 将来の農業、生命科学分野を牽引する人材の育成
- 我が国の国際競争力向上に寄与する産業の創出に貢献してまいります。

# 食の未来を拓く革新的先端技術の創出

(FSフェーズ：2019.10～2021.3／本格実施フェーズ：2021.4～2025.3(予定))

研究開発課題7

研究開発課題6

研究開発課題5

## 研究開発課題1

### 作物変異集団大規模 フェノタイピングによる 有用素材開発



#### 研究内容

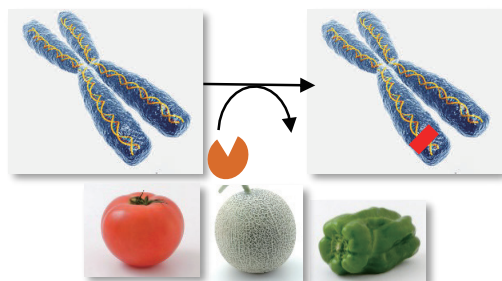
- 高付加価値を示す素材の単離
- 流通に適した品種開発

#### 共同研究機関

国立大学法人 筑波大学  
日本製粉株式会社

## 研究開発課題2

### 作物ゲノム編集技術の汎用化



#### 研究内容

- 形質転換を経ない方法
- 迅速なゲノム編集作物作製技術開発

#### 共同研究機関

国立大学法人 筑波大学  
株式会社カネカ  
日清食品ホールディングス株式会社

## 研究開発課題3

### 省力型生産技術による 高付加価値作物の生産



#### 研究内容

- 栽培しづらい高付加価値作物の高収量・高品質化
- 非侵襲により高品質作物を自動で選別
- 未利用品種の普及促進・ブランド化促進

#### 共同研究機関

国立大学法人 筑波大学  
株式会社トーヨーエネルギーファーム

## 研究開発課題4

### 先端技術により作出された 作物の理解と普及



#### 研究内容

- 先端技術の社会的課題の整理と社会受容の促進
- 国民の理解を進める為のプログラムの実施

#### 共同研究機関

国立大学法人 筑波大学  
学校法人 国際基督教大学  
サナテックシード株式会社

当コンソーシアムへの新規参画  
(研究開発課題1～4への参画、新たな研究開発課題  
の立ち上げ)をお待ちしております。

●食料生産技術革新による高機能性、高付加価値作物の迅速な改良技術

●栽培技術の高度化による栽培しづらい高付加価値作物の高収量化

●食品としての価値を高めることによるブランド化

●2030年までに1.5倍に拡大する世界の食市場のシェア獲得

NEXT